

市民協働によるサステナブルなまちづくり

静岡県掛川市（2020年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

掛川市は、市民主体のまちづくりの実現を目指すため、市民等が等しく主体的に参加できることや「報徳の精神」や「生涯学習の理念」、「自助・共助・公助の精神」に基づいた「協働のまちづくり」を推進している。今後、少子高齢・人口減少社会、さらにSociety5.0や人生100年時代の到来に伴い、誰もが社会に関われる社会的包摂の推進や、人が住み続けるために自立可能な経済や持続可能なエネルギーの利用環境を確保するため、SDGsの観点を施策に取り入れ、持続可能なまちづくりを推進し、社会、経済および環境の統合的な向上を目指す。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

SDGsの観点を市の施策に落とし込むため、総合計画の各施策を関連するSDGsのゴールと紐づけ、SDGsのゴールとKPIを設定し、「市民協働によるサステナブルなまち」の実現に向け取組を進めている。また、SDGsの認知度を向上するため、様々なステークホルダーと連携し、職員向けの研修や、市民に向けた広報などを実施し、官民を挙げて積極的な普及展開を行っている。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

【市政との紐づけ】

SDGsのゴールと総合計画の個別施策を紐づけることで、総合計画の充実と各施策の更なる推進を図っている。

【普及啓発・情報発信】

各課の窓口や職員の名札へ関連するSDGsのゴールを掲示、広報誌へのSDGs情報掲載などを実施し、積極的な情報発信を行っている。

掛川SDGsプラットフォームのパートナー同士の交流や市民の参画を目的として、「かけがわSDGsフェスタ2024」を実施。

【官民連携の推進】

官民連携による地域課題解決策を促進するため、「掛川SDGsプラットフォーム」を開設し、地域課題の見える化を進め、共創パートナー・団体の募集、ネットワーキングに努める。

エネルギーの地産地消と地域経済の循環のため、地域新電力会社を創設し、地域のゼロカーボンを目指す。

5. 取組推進の工夫

・プラットフォームのコンセプトをイノベーションを起こすことによる地域経済の活性化を盛り込んでいる。

・イノベーションの要素として必要といわれる、幅広いネットワーキングの達成のため、パートナー登録資格を低く設定し、地元にとられない多種多様な事業者の参加を図ることにした。

6. 取組成果

【市政への紐づけ】

SDGsと総合計画の個別施策を紐づけたことにより、その他分野ごとの各種計画についてもSDGsの観点が組み込まれるようになり、全庁的にSDGsへの認識が高まっている。

【普及啓発・情報発信】

SDGs未来都市計画の認定・プラットフォームの創設を特設HPや広報などで発信し、地元以外の事業者にも参画を促すことができています。

「かけがわSDGsフェスタ2024」を開催し、各団体の取組み紹介や成果報告等を行うことで、団体間での新たな連携の創出や市民のSDGsに関する意識の醸成に取組んだ。

【官民連携の推進】

令和3年10月にプラットフォームが始動し、パートナー登録事業者数延べ224事業者、事業者との連携事業17件(R5)の実施へにつながった。

地域電力会社から市内62の公共施設へ電力供給を開始した。

7. 今後の展開策

「掛川SDGsプラットフォーム」の本格的な運用に向けて、共創事業は、行政発信による地域課題解決だけではなく、民間発信による地域活性化へつなげる工夫が必要になる。各ステークホルダーの強みを活かした取り組みや、弱み（協力を求める技術等）を出会いの「場」となるように、プラットフォーム上での見える化を進め、民間同士の共創を推進し、SDGs達成に向けた市内の取組を活性化させる。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

SDGsを共通のテーマとした地域課題の解決は、どの地域においても実施可能なものである。このため、SDGsプラットフォーム事業についての行政視察を2件受け入れたほか、静岡県内のSDGs未来都市等で構成する情報交換会が発足し、定期的に取り組み等についての相談、情報共有ができています。

SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

静岡県掛川市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

掛川市SDGs未来都市計画～市民協働によるサステナブルなまちづくり～

—

2020年度

第 1 期SDGs未来都市計画（2020～2022）の進捗評価結果報告シート（様式3-2）

静岡県掛川市 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（ 1 ） 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	観光交流客数 【8.9, 10.2, 12.b】	2018年 3,750 千人	2022年 3,833 千人	2025年 4,000 千人	33%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
2	創業支援事業計画支援実績【8.3,9.b】	2019年 56 （延べ）件	2022年 282 （延べ）件	2025年 650 （延べ）件	38%	目標達成度が低いため、第2期計画では目標値の下方修正を実施。
3	有機栽培茶園の面積【2.4,8.2,9.b】	2019年 5 ha	2022年 28 ha	2025年 140 ha	17%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
4	子どもが健全に成長していると思う市民の割合 【4.1,4.2,4.3,4.4,4.7,10.2,17.17】	2019年 69.4 %	2022年 60.5 %	2025年 80 %	-84%	目標達成度が低いため、第2期計画では、家庭地域学校など多角的にこどもの成長過程をサポートする施策を継続的に実施し、取組達成へ向け推進を図る予定。
5	65歳以上で要介護 1 以下のお達者市民の割合 【3.4,3.8,17.17】	2018年 90.5 %	2022年 90.8 %	2025年 94 %	9%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
6	掛川は住みやすいところだと思う市民の割合 【9.1,9.b,11.1,11.4,11.6,11.b,13.1,14.2,16.1,17.17】	2019年 75.8 %	2022年 77.0 %	2025年 85 %	13%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
7	外国人人口【10.2】	2019年 4,447 人	2022年 4,296 人	2025年 6,500 人	-7%	目標達成度が低いが、新型コロナウイルス感染症による影響が反映した結果と思われる。第 2 期計画では、企業誘致等による外国人労働者の流入の推進を図り、取組達成へ向け推進を図る予定。
8	温室効果ガス量の排出量【7.2,12.5,12.8,15.1,17.17】	2014年 1,481 千t	2022年 1216 千t	2025年 1,350 千t	202%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを1,000 千tに見直し更なる推進を図る予定。
9	再生可能エネルギー（電力）普及率【7.2,17.17】	2019年 9.19 %	2022年 24.2 %	2025年 14.2 %	300%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを27.2%に見直し更なる推進を図る予定。

（ 2 ） 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年 実績	2022年 目標値	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	心豊かな人づくり	子どもが健全に成長していると思う市民の割合	2019年 69.4 %	2022年 60.5 %	2025年 80 %	-84%	目標達成度が低いため、第2期計画では、家庭地域学校など多角的にこどもの成長過程をサポートする施策を継続的に実施し、取組達成へ向け推進を図る予定。
2	かけがわ地域循環共生圏の実現	再生可能エネルギー（電力）普及状況	2018年 9.19 %	2022年 24.2 %	2022年 14.2 %	300%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを27.2%に見直し更なる推進を図る予定。
3	しごとを生み出すイノベーション支援	創業支援事業計画支援実績	2019年 56 （延べ）件	2022年 282 （延べ）件	2022年 200 （延べ）件	157%	2022年の目標値は達成できているが、2030年の目標達成度が低いため、第2期計画では目標値の下方修正を実施。
4	持続可能な移動支援	通勤・通学・通院・買い物等に出かけるときに公共交通に不便を感じない市民の割合	2019年 31.5 %	2022年 27.8 %	2022年 38.3 %	-54%	目標達成度が低いが、第2期計画では自動運転・MaaS・ライドシェア・オンデマンドタクシー等、多様な交通手段を地域の実情に合わせて選択できるように研究を行い、目標値を上方修正した。
5	協働によるまちづくりのステップアップ	人と人が信頼し助け合っていると思う市民の割合	2019年 57.9 %	2022年 58.2 %	2022年 66.5 %	3%	目標が達成できており、第2期計画ではKPIを75.0%に見直し更なる推進を図る予定。

（ 5 ） 第 1 期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

●特筆すべき事業内容 ①官民連携による地域課題解決策を促進するため、「掛川SDGsプラットフォーム」を開設し、地域課題の見える化を進め、共創パートナー・団体の募集、ネットワーキングに努める。 ②掛川SDGsプラットフォームのパートナー同士の交流や市民の参画を目的として、「かけがわSDGsフェスタ2024」を実施。 ③エネルギーの地産地消と地域経済の循環のため、地域新電力会社を創設し、地域のゼロカーボンを目指す。 ④市の総合計画の個別施策とSDGsを紐づけることで、総合計画の充実と各施策の更なる推進を図る。
●成果 ①パートナー登録事業者数延べ224事業者、事業者との連携事業延べ25件 ②各パートナー団体の取組み紹介や成果報告等を行うことで、パートナー同士の新たな連携の創出や市民のSDGsに関する意識の醸成に取組むことができた。 ③地域電力会社から市内62の公共施設へ電力供給を行い、エネルギーの地産地消を行っている。 ④SDGsと総合計画の個別施策を紐づけたことにより、分野ごとの各種計画についてもSDGsの観点が組み込まれるようになり、全庁的にSDGsへの認識が高まっている。
●課題 ①職員に対してSDGsプラットフォームの周知が不足していると感じる。共創事業のさらなる創出のため、庁内への情報発信を行う。 ②について、パートナー同士の交流を図ることができたので、新しい取り組みの創出について実績を残す段階になっている。 ※以下は、(1)、(2)において、達成度がマイナスになっている項目に対する対応策 ③(1)No4について、令和 6 年度に策定する「こども計画」に基づいて、家庭地域学校など多角的にこどもの成長過程をサポートする施策を継続的に実施する。 ④(1)No7および(2)No1について、新型コロナウイルス感染症による影響が反映した結果と思われる。今後は、企業誘致等による外国人労働者の流入の推進を図る。 ⑤(2)No4について、自動運転・MaaS・ライドシェア・オンデマンドタクシー等、多様な交通手段を地域の実情に合わせて選択できるように研究する。
●今後の展望 SDGsプラットフォーム上で、市とパートナー企業やパートナー企業同士の共創による新しい取り組みが自然と発生するような環境を目指す。

（ 6 ） 有識者からの取組に対する評価

・重要な指標において、順調な進捗が認められる。市民や事業者の更なる巻き込みや、民間同士の共創の推進が今後の課題で、第 2 期計画での進捗が期待される。 ・新電力事業は順調に進展したが、当初のその事業収益で地域課題を解決する構想は変更されたのであろうか。経済と社会の側面が繋がっていない。行政職員と住民のSDGs啓発が先決のように思われる。
--